

# 空間表現 (問題)

2026年度

〈R08200017〉

## 注意事項

1. この試験では、この問題冊子のほかに、解答用紙を配付する。
  2. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
  3. 問題は3ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
  4. 解答はすべて解答用紙の所定欄（表側のみ、縦使い）に、黒鉛筆（濃さは自由）で描き、所定欄外には何も記入しないこと。
  5. シャープペンシルは使用しないこと。また、スケッチ用器具、定規等も使用しないこと。
  6. 解答用紙記入上の注意
    - (1) 記述解答用紙の所定欄に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
    - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
    - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。
- |      |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 数字見本 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
7. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離さないこと。
  8. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
  9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
  10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

## 問

「あわい」の概念を空間的に表現しなさい。「あわい」とは、人・物・時などの間が、重なり合う、交わる、あるいは媒介する空間の状態を指すものとする。外部と内部、あの世とこの世、昼と夜、海と陸など、互いの境界が曖昧に揺れ動き、ゆるやかに結びつく様子を想定し、空間として表現すること。

空間表現は、奥行きを的確に示すため印影を付した立体的な描写とする。文字による説明や漫画的な記号表現は用いてはならない。

解答は解答用紙の所定欄（表側のみ）に描画すること。欄外への描画は認めない。解答用紙は縦使いとする。

[以下余白]

(注) こちらの面が表側です。この点線より上に解答を記入して下さい。

(注) 用紙は縦使いとし、この欄を下側にすること。

採 点 欄

8	8
---	---

B <2026 R 08200017>

(注意) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

受験 番号	万	千	百	十	一
8	8	8	8	8	8

氏 名	
--------	--

A <2026 R 08200017>